

白井ゆきののり 政策提言集

ナンバーワン!! 都市宣言



あふれる**草津**に。

子育て・教育 ナンバーワン!!都市宣言

子どもたちは草津一番の宝です。子どもを安心して生み育てる喜びを実感でき、子育て支援が行き届いたまちづくり。そして、子どもたちが元気に学び、豊かな人間性と健やかな体を育むあらゆる教育環境の整備に取り組み、子育て・教育 ナンバーワン!!を目指します。

① 子どもを安心して生み育てることができるまち

○突然休止された小児救急医療センターの再開

○中学校卒業までの医療費無償化

○幼稚園の三年保育の実施

○保育料の負担軽減

○妊娠期から就学期までの、出産・育児を一貫したサポート体制の構築

○不妊・不育治療に係る経済的支援の充実

○待機児童ゼロ対策の推進

(民間保育園の整備 幼保一体化の推進 幼児保育・教育に関わる職場環境の充実)

○保育園の一時預かりの充実

○障がい児保育、一時保育の充実

○病児保育施設の拡充

○学童保育施設の拡充・整備

○子育ての相談窓口の充実

○子育て支援ネットワークの構築

② 学びを支え、心豊かな子どもが育つまち

○中学生に対する塾・習い事代の助成制度の創設

○中学校給食の早期の実施

○全国学力テスト結果の開示

○子どもの人権を守る体制の整備(いじめ撲滅 保護者地域との連携 スクールカウンセラーの配置)

○市立図書館の充実

○国際理解教育の推進

○外国語指導助手の増員

○子どもの体力向上を図るための施策の実施(学校体育教育の充実 大学生・トップアスリートの指導)

○障がいの有無にかかわらず、共に学べる機会・環境の整備



突然休止となった草津市小児救急医療センターを再開させ、子供たちの命を守ります。市民が健康で長生きできるよう、また、住み慣れた地域で医療・介護を受けることができるよう、草津ならではの地域包括ケアシステムをつくとともに、高齢者のいきがいの創出に全力で取り組みます。障がいがあっても地域の一員として活躍できる草津市をつくり、医療と福祉ナンバーワン!!を目指します。

①誰もが安心して医療を受けることができるまち

○突然休止された小児救急医療センターの再開

- 訪問診療、訪問看護の在宅医療、介護の充実
- 健康診断、予防医学の充実

②高齢者がいきいきと暮らせるまち

○特別養護老人ホームなどの整備

- 地域で活躍したい高齢者への支援
- もっと働きたい高齢者への就労・起業などの支援
- 草津市ならではの地域包括ケアシステムの構築(総合支援事業・介護予防の充実・創設)
- 認知症高齢者対策及び家族への支援
- 介護従事者の職場環境の充実や処遇改善の促進
- 高齢者の見守り、安否確認体制の構築
- 高齢者の居場所づくりの整備(地域サロン・認知症カフェ等の整備・増設)

③障がいのある方が自立した暮らしが出来るまち

○学びの作業所や専攻科の開設に向けた取り組み

- 障がい者雇用の充実
- グループホーム、障がい者支援施設への支援、整備
- 障がい児支援・発達障がい者・難病患者への支援の充実



市民の暮らしを支えるために、地域経済の活性化を図り雇用機会の拡大を目指し、にぎわいのある草津をつくります。近隣市や京都・大阪との連携を図り、広域的に産業・農業振興、観光促進を行い、便利で夢あふれる『中核都市・草津』を見据えた元気でにぎわいのあるまちナンバーワン!!を目指します。

① 活気あふれるまち

○市民税を5%減税し、家計の負担軽減

○野村公園市民体育館を5,000人収容施設とし、スポーツ・文化・防災拠点とする

- 中小企業や商店街の活性化支援の充実
- 企業誘致、雇用の促進、次世代型産業の育成
- 健康や福祉産業の創出のため、産・学・官による共同研究
- 中心市街地活性化の推進
- 市街地再開発事業、区画整理事業などの市街地整備の推進
- 経営指導や人材の育成、起業支援

② 農業振興と食の「草津ブランド」化

○農産物の販売ルート開拓のための支援や営農支援

- 学校給食の地元食材の活用
- 生産から加工・販売までの第六次産業の育成支援
- 草津ブランド農作物のトップセールス
- 草津ならではの農業振興



③ 自然・歴史・文化・伝統を大切にするまち

- 草津市の魅力の発掘、観光資源の開発
- 積極的なインバウンド(外国人旅行者の受け入れ)の推進
- 姉妹都市等の交流を生かした観光資源の開発
- 民間活力を生かしたイベントの開催や環境の整備
- クレアホール・アマカホールの有効活用
- 滋賀県内他市 京都・大阪等との連携を取った観光の開発
- 文化財の保護、伝統文化の継承支援

④ 市町村合併の推進

- 近隣市と連携を図り「中核都市・草津」を目指す
- 滋賀県内他市や京都・大阪等との連携による経済圏の構築
- 広域的な観光資源の開発
- 広域的な住民サービスの創造
- 広域医療・福祉、災害対策の充実

地方自治体を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、草津市も例外ではありません。ムダを排した筋肉質な市政を実現するためにも、市長自らが身を切る改革を行い、市職員のやる気を向上させます。市民のニーズにあった、あたたかさあふれるきめ細やかな行政サービスと透明のある市政運営に向けて、筋肉質な市政の実現と住民サービスナンバーワン!!を目指します。

①自ら身を切る改革

○市長給与 20%カット 市長退職金 50%カット

②市職員のやる気向上

- 市職員のやる気を向上させる人事評価制度の構築
- 市職員数の適正化



③揺るぎない財政基盤の構築

- 大規模開発事業について立ち止まり考える
旧草津川跡地整備、市民総合交流センター等
- 市所有の不動産の有効活用

④市民の声が届く市政運営

- 市長自ら現場を回り、市民の意見を反映させた市政運営。

市民の輝く、絆でつながるまち ナンバーワン!!都市宣言

市民の生命と財産を守り、危険から子どもや高齢者を守るために、「向こう三軒両隣」の精神に基づいた地域コミュニティを創造します。思いやりや気遣いあるまちづくりを行い、犯罪・災害に強い草津市をつくとともに、新たなる未来の郷土を設計し、市民の輝く絆でつながるまちナンバーワン!!を目指します。

①誰もが参加できるまちづくり

- 市民センター(公民館)の指定管理の見直し
- 町内会立ち上げ、町内会加入の推進
- まちづくり協議会、町内会への支援の充実
- 地域で活躍する団体・個人への活動支援
- 人権問題解決に向けた積極的な取り組み
- 高齢者や障がいを持つ方も社会参加できるまちづくり

②安心・安全のまちづくり

- 4年連続犯罪率県内ワーストワン脱却へ。警察官増員要請
- 地域コミュニティと連携した防犯・防災体制づくりの強化
- 地域自主防災組織の機能向上、支援の充実
- 避難所、広域避難所の増設、整備
- 防犯カメラの増設・設置に係る費用の助成
- 橋梁等公共施設の耐震化の促進
- 水害被害対策として河川整備の促進

③生活・交通インフラ(基盤)の整備

- 交通渋滞緩和、災害時の避難路の整備
- まめバス等の公共交通の充実
- 鉄道インフラの整備の検討

④誰もが活躍できるまち

○草津川跡地でのグラウンドゴルフ場(認定コース)の整備

- 生涯学習・スポーツへの支援
- 社会的起業、女性起業の育成・支援
- 女性が活躍できる環境づくり

